

# ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No.876

11.8.24

## 危険な原発、撤退の決断を署名

8月19日（金）夕方、日本共産党名草後接会のみなさんと、旭穂田地で「原発徹底署名」でまわりました。会えた方には、ほとんど署名をしてもらえましたが、話せば話すほど福島事故がどうなるのかが心配が増してきます。署名用紙はたくさんあります。ぜひみなさんもまわりの方に広めてください。

## 生活が苦しいとき 生活保護制度の活用を

収入が少ないので生活が苦しい、仕事ができなくて収入がない、こんなときに役立つのが、生活保護制度です。生活保護は、働いていても年金や持ち家がなくて、国が定めた生活保護基準（下表）以下の収入で、預貯金など他に活用できるものがなければ受けることができます。

基準額の計算は、世帯の

食費(第1類)				光熱水(第2類)			
年令	基準額	年令	基準額	世帯	基準額	階級	基準額
0~2	19,020	20~40	36,650	1	39,520	階級1.2級 A1.A2	24,970
3~5	23,980	41~59	34,740	2	43,740	3級 B1	16,650
6~11	31,000	60~69	32,850	3	48,490	母子	21,640
12~19	38,290	70以上	29,430	4	50,200		

食費(第1類) 加算(料)(重複調整あり)

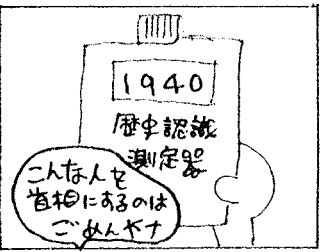
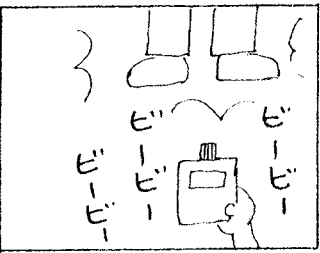
世帯・関係・地位(上掲)	加算(料)
単身	35,000
2~6人	45,000
7人以上	54,000

構成に依り、食費は家族の年齢ごとに、光熱水は家族の人数で、家賃は実費ですが、世帯の人数によって上限があります。収入があっても基準額以下の世帯ならば、その差額を支給されます。申請したい方は、事前に

## フリーの人々



<659>



私、ひめだに相談することをおすすめします。

## こんにちは 日本共産党の ぶじい健太郎 です。(その301)

県が東海・東南海・南海地震津波を想定して、港や河川に設置した水門・樋門Q1基と陸開(陸上)にあつて岸壁と陸側とを仕切る移動式門扉(49)8基の開鎖に要する時間の調査を行いました。

操作者が津波襲来の想定時間内に、水門を開鎖してから無事に避難できるのかどうかを調査したものです。Q1基ある水門・樋門の内、遠隔・自動化されているもの18基、常時閉鎖されているもの12基で、残り61基は操作が必要となっています。その内、避難困難なもの46

基で、それについては当面は、水門を閉めに行かずに逃げるという運用方針でいき、中長期的に優先順位を決めて遠隔化・自動化を検討していきたいということでした。和歌山市では和歌山港で2か所、和歌川で1か所、市堀川1か所の合計4か所が避難困難とされています。

陸開49か所の内、半数は常時開放が必要とされ、岸壁を乗り越える津波に対して、ほとんど対策がとられていないことも明らかとなりました。まだまだありそうです。



ぶじい健太郎 前県議員

# 岩手・陸前高田市 救援隊報告

3の6

今回の活動について、私ひめだの感想を書いて報告のまとめとします。津波が来た地区での住宅や商業施設など再興をどうするのかという点はまったくわかりませんが、復興支援はこれから長く続ける必要があること。津波に関しては、高台への避難しか方法がなく、そのためにも防災無線などの整備が必要で、今後

の和歌山市の震災対策に生かすことが大切だと痛感しました。

現地で買って来た本を紹介します。報道写真集「岩手の記録」、岩手日報社「東北の記録」、河北新報社、避難所での子どもたちの書き壁新聞「コファイト新聞」、三陸住民震災日誌「罹災の光景」、岩手在住のマンガ家による岩手紹介

マンガ「ゴーガイ」を読みたい方にはお貸しします。私、ひめだまでご連絡を（連絡先は欄外）

## 南アフリカ 原野学習会

9月10日(土) 午前10時～

和歌山大学協賛事務所  
講師 松下義和氏(元関西社長)  
和歌山大学後援会主催

9月18日(日) 午後1時30分～

和歌山大学センター  
講師 目黒二郎氏(代学社社長)  
和歌山大学後援会主催

# 日本共産党



赤字国債の発行を可能にして今年度の財源を確保する「特例公債法案」の審議が参議院で始まり

ました。  
今年度予算で民主党政

権は財界言いなりに大企業・大資産家に減税をし、軍事費や米軍「思いやり」予算を温存する一方、国民には、年金支給を削減、少人数学級の予算を抑え、医療・介護の負担増を計画するなど暮らしに冷たい本末転倒の予算です。それを支える特例公債法案を認めるわけにはいきません。

民主党は09年の総選挙で「生活第一」を旗印に政権に就いたものの沖縄の基地問題、後期高齢者医療の存続、消費税増税、TPPの参加など自民党政治と同じ道に戻っています。さらに特例公債法案を成立させる取引材料に子ども手当の廃止で自公と合意しました。

## 潮流

11.8.20 日刊(横) 陸前高田の日本共産党員市長だった中里たなかで、いちばん印象的な出来事として(日議会と自治体4月号)▼翌日、中里さんが漁協の組合長に伝えると、組合長さんは「思わぬ直立された」(同)といいますが、業者は、生活だけでなく生産の手段を得なければ、暮らしを再建できません。ワカメやカキなどの養殖施設の復旧費用にも、市だけで半額出しました。

話があります。中里さんのある決断です▼昨年2月、チリ大地震による津波が押し寄せてきました。陸前高田の養殖漁業は、岩手県内でもっともひどい被害を受けました。市は漁業者の支援の求めにどこまでこたえられるか。担当の水産課長さんは、気が気でなかったようです▼中里市長と課長さんの相談の日がきます。中里さんは、すぐに応じました。「被害資材の撤去費用については100%出しましょう」。1円ももうかからず負担になるだけの片づけなどには、行政も最大限、手厚く援助しなければ。中里さんの考え方でした▼同席した戸羽太副市長(現市長)が、振り返ります。「課長さんはもう、ほんとにうれしそうな顔をしました」「副市長を務めていたなかで、いちばん印象的な出来事として(日議会と自治体4月号)▼翌日、中里さんが漁協の組合長に伝えると、組合長さんは「思わぬ直立された」(同)といいますが、業者は、生活だけでなく生産の手段を得なければ、暮らしを再建できません。ワカメやカキなどの養殖施設の復旧費用にも、市だけで半額出しました。大被害でも、廃業する人はいませんでした▼/年後、陸前高田は東日本大震災に襲われました。自分の土地も仮設住宅用に提供し、病を患って介護と復興にのぞきながら、中里さんの無念は、想像に余りあります。せめて志が全国の被災地で生きると、願ひがはいらぬままです。

赤旗 日刊 せいの購読ください。 3,400円/月